

STAGE+を楽しむ(254)(HP 収載)
—キース・ジャレットの New Vienna—

1. 始めに

前報(253)に引き続き、STAGE+のキース・ジャレットの New Vienna (Live)の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のキース・ジャレットの New Vienna (Live)の演奏を選びました。

New Vienna (Live)

- キース・ジャレット New Vienna, Part I (Live)
- キース・ジャレット New Vienna, Part II (Live)
- キース・ジャレット New Vienna, Part III (Live)
- キース・ジャレット New Vienna, Part IV (Live)
- キース・ジャレット New Vienna, Part V (Live)
- キース・ジャレット New Vienna, Part VI (Live)
- キース・ジャレット New Vienna, Part VII (Live)
- キース・ジャレット New Vienna, Part VIII (Live)
- キース・ジャレット New Vienna, Part IX (Live)
- キース・ジャレット Somewhere Over the Rainbow (Live)
- ハロルド・アーレン Somewhere Over the Rainbow (Live)



3. 試聴の経過

前回到引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間とスイッチングハブ→PC 間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

前報(247) では、キース・ジャレット東京公演を試聴しましたが、今回は New Vienna (Live)のアルバムです。

ネットで検索すると、キース・ジャレットの 80 歳の誕生日 (5 月 8 日) を祝して 2016 年に行ったウィーンでのソロ・コンサートのライヴ収録のアルバムとのことで、インプロヴィゼーション 9 曲とスタンダード曲の「虹の彼方に」が収録されています。

インプロヴィゼーションの各曲は、型にとらわれない自由な即興演奏が繰り広げられます。2016 年収録とのことで音質はよく、ピアノは左手の低音が多く用いられ、重量感のある演奏で、エッジの効きすぎたところはないので、ピアノはベーゼンドルファーではないかと思われま。

Somewhere Over the Rainbow は、PC の DC 電源ラインに iPurifier DC を介在させてみましたが、わずかに細かい音が聴こえるくらいの違いで、すでに PC の USB ポートに仮想アースが接続されていることもあって、さほど顕著な効果はなかったものと考えられます。PC の電流量が多いせいか、iPurifier DC はかなり熱を持ちますので、常時は外しておきます。

4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX を適用した結果、ジャレットの自由な即興演奏の重量感のある演奏が聴けました。

以上